

「人のため」大人の誓い

被災経験糧に 43市町村で成人式

13日の成人の日を前に、県内43市町村で12日、成人式が行われ、華やかな振り袖やスーツに身を包んだ新成人が大人への一步を踏み出した。昨年秋の台風や大雨被害からの復興を誓うなど、令和初の新成人たちが思いを新たにしました。



台風15号で大きな被害を受けた南房総市。同市白浜町滝口の白浜フローラルホールで行われた成人式には259人が出席した。

あいさつした新成人代表の一人、亀田医療大2年平野悠真さん(20)は自宅に大きな被害はなかったが、停電や断水に見舞われた。そんな中、被災地に駆けつけたボランティアたちの姿を目にした。こうした体験を振り返り、「成人とは他人のために行動できる人なの

だと気づかされた」と語った。看護師を目指しており、被災体験で思いを強くしたという。

大雨被害に遭った茂原市の式典では、新成人代表の千葉大2年宮川宏佳さん(20)が「台風や大雨が甚大な被害をもたらした中、一層光り輝いたのは人と人とのつながりだった」と振り返った。そして「この先どんな状況に置かれても自分のできることを一生懸命やって誰かの心に明か



笑顔を見せる新成人たち(12日、茂原市で)



航空会社のスタッフから祝福される新成人たち(成田空港で)

りをもとめるような大人になろう」と壇上から語りかけた。サッカー選手古川大悟さん(20)は式後、取材に「サッカーで故郷を勇気づけられたら」と話していた。

成田市では成田空港で式典が行われ、1021人が出席した。会場では航空会社のスタッフが受け付けを手伝い、祝いの言葉を贈った。式後に市の観光キャラクター「うなりくん」や外国人観光客と記念撮影をする新成人の姿も。大学2年上坂智美さん(20)は東京五輪のボランティアに携わるといい、「語学力を生かし、外国人のおもてなしをしたい」と語った。

鴨川市は水族館「鴨川シーワールド」で開催。シロイルカのベルーガの水槽前では新成人たちが再会した友人と記念撮影していた。

新成人6万3727人 895人減

県によると、今年の県内の新成人は6万3727人で、前年より895人減った。市町村別では千葉市が続いた。

1万254人と最も多く、船橋市(6421人)、松戸市(4870人)の順に続いた。